

植調協会だより

◎ 人事異動

平成13年12月31日付

退職 福岡試験地 嘱託 金山 擴
退職 鹿児島第一試験地 主任 湯田 保彦

平成14年 1 月 1 日付

命 事務局技術部企画調整室係長

濱村謙史朗

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も一層のご支援をお願い申し上げます。

正月。某有名作家から実にユーモラスな年賀状をいただいた「2002年。2と2の間に○が2個、どちらもニコニコ（2個、2個、編者注）」2002年はにこにこ笑顔で行こうと決めました。

今号の小林会長の巻頭言、編集に携わる者にとっては耳の痛い話です。毎月「植調」から発信した情報が読者にどのように受け入れられているか、テレビの視聴率と同じように常に気にかかるテーマです。2002年はこの問題に腹を据えてかかる覚悟ですので、読者の皆様方におかれましても、「植調」に対するご意見、ご提案を積極的にお寄せ下さいますようお願いいたします。

小林会長の草履づくり教室の話。編集子

も縄、草履は勿論、米俵、吠、筵などを編んだ経験があり、これらの藁細工は、昭和20年代には農業には欠かせない資材でした。これは先人達が伝えた技であり、日本独特の文化でした。最近は工業製品至上主義の生活となり農民の伝統文化や伝統技術は博物館行きとなってしまったが、伝統文化技術として伝承されることを願って止みません。

ここ数年暖冬が続いたが、今冬は例年がない大雪と寒波。ミノムシは大雪の年は巣を高い所につくるといわれていますが、果たして昨年の秋に高い所に巣をつくったのだろうかと気になります。大雪の年は豊作といわれています。何か2002年は明るい兆しが見えてきたような気がします。㊦

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小林 仁
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

平成14年 1 月発行
植調第35巻第10号

定価420円(送料270円)
(本体400円,消費税20円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新 成 印 刷 (有)